



ききみみずきん

2021年春号 Vol.35

<発行・編集>喜多方市立図書館
 指定管理者 株式会社 図書館流通センター
 〒966-0822 喜多方市字柳原7503-1
 TEL:0241-22-1855



●<https://kitakata-lib.sakura.ne.jp>

4月～6月の図書館スケジュール

開館時間 平日 午前9:30～午後7:00 土日祝日 午前9:30～午後5:30

■ 休館日

4月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

📖 おはなしドライブミニ(午前11:00～11:15)

📖 ユニットおりがみ教室(午前10:00～11:30)

🍵 ちっちゃなおはなしかい(午前11:00～11:15)

特別整理期間お知らせ

4月1日(木)～5日(月)は特別整理期間のため休館になります。

図書館からのお知らせ



「ちっちゃなおはなしかい」再開のお知らせ

毎月第3木曜日に開催していた、0才～3才向けのおはなしかいを再開します。参加には、予約が必要になりますので、図書館へお電話で申し込みされるか、カウンターまでご来館ください。

また、第2第4日曜日に開催している3才～小学生向けのおはなしドライブミニも開催しています。こちらもご予約が必要となりますので、お電話かカウンターにてお申し込みください。

その他にも、ユニット折り紙教室、月ごとの特集展示、ラジオ紹介本の特集展示など様々なイベントを行っております。皆様のご来館をお待ちしております。



新型コロナウイルス感染症への対応について

現在、喜多方市立図書館ではご来館時に以下のご協力をお願いしております。

- ①来館時のマスクの着用と手指の消毒
- ②学習席および閲覧席の一部利用制限
- ③滞在時間短縮

※今後の状況に応じて、対応を変更する可能性があります。

体調の悪い方は利用をご遠慮ください。また、図書館では定期的な消毒と窓を開けての換気を行っているため、寒さを感じる場合があるかもしれません。暖かい服装でのご来館をお待ちしております。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



おすすめ図書 ラインナップ！



毎週木曜日に新しい本が入ります。
どうぞお楽しみに！

『ひきこもり図書館』

頭木 弘樹／編 毎日新聞出版
(908/ヒ)



コロナ禍、心ならずも家にひきこもらざるおえなかった方も多はず。この本には、13年間病気によりひきこもった編者が選んだ12の物語が収められています。疫病で、実験で、忘れられて…と様々な理由で閉じこもったり、出られなかったりの登場人物たち。登場人物の気持ちになって、この魔訶不思議な物語の世界を味わってみませんか？

【一般コーナー】にあります。

『紙の上のタイムトラベル』

松本 典久／著 東京書籍 (686/マ)



明治5年(1872年)、日本で初めて鉄道が開通しました。新橋ー横浜間から始まった鉄道が各地に広がり、終戦、高度成長、国鉄民営化を経て来年で150年になります。そんな鉄道と時刻表の歴史を豊富な写真やエピソードとともに振り返ることができる1冊です。

【一般コーナー】にあります。

『世界のおやつ』

鈴木 文／著
パイインターナショナル
(596/ス)



ご自宅でおいしいおやつの世界旅行はいかがですか？

この本では“旅するパティシエ”鈴木文が厳選した世界各地のおやつ100点がレシピとともに紹介されています。カンノーリ(イタリア)、レモンポレンタケーキ(イギリス)、ポルポロン(スペイン)など名前を聞いただけでもわくわくしてしまうおやつが満載です。

【一般コーナー】にあります。

その他の新刊

- 『悪の芽』 貫井徳郎 KADOKAWA (F/ヌ)
- 『階層樹海』 椎名誠 文藝春秋 (F/シ)
- 『帝国の弔砲』 佐々木譲 文藝春秋 (F/サ)
- 『草原のサーカス』 彩瀬まる 新潮社 (F/ア)
- 『血も涙もある』 山田詠美 新潮社 (F/ヤ)
- 『ジャックポット』 筒井康隆 新潮社 (F/ツ)
- 『灰の劇場』 恩田陸 河出書房新社 (F/オ)



新着CD・DVDラインナップ

新着CD・DVDの一部をご紹介します。



<CD>

- *『Traveler』 (C290/オ)
OFFICIAL HIGE DANDISM
- *『LOVE』 (C290/ス)
菅田 将暉
- *『ニュートンの林檎』 (C290/シ)
椎名 林檎
- *『三山ひろし全曲集』 (C290/ミ)
三山 ひろし
- *『オペラを聴きたくて』 (C155/オ)
エリーナ・ガランチャ ほか
- *『DNA』 (C240/バ)
バック・ストリート・ボーイズ



<DVD>

- *『散り椿』 (D778/チ)
岡田 准一・西島 秀俊 ほか出演
- *『羊と鋼の森』 (D778/ヒ)
山崎 賢人・鈴木 亮平 ほか出演
- *『人魚の眠る家』 (D788/ニ)
篠原 涼子・西島 秀俊 ほか出演
- *『グリーンブック』 (D778/グ)
マハーシャラ・アリ ほか出演
- *『マイ・ブックショップ』 (D778/マ)
エミリー・モーティマー ほか出演
- *『プーと大人になった僕』 (D778/プ)
ユアン・マクレガー ほか出演



特集

花、あざやかに ～花々の装丁が美しい小説特集～

春、待ちに待った雪解けとともに愛らしい花々が咲きみだれ、街がにぎやかになる季節ですね。今回はそんな春の日になみ、花にあふれた表紙の小説をご紹介します。花でにぎわう街の中、お手元にも花をいかがですか？



『春待ち雑貨店ぷらんたん』岡崎 琢磨//著 新潮社 2018.1 (F/オ)



京都にあるハンドメイド雑貨専門店「ぷらんたん」を舞台にその店主と4人の来訪者を中心につくりだされる物語。4人それぞれが抱えた悩みや痛みを、店主の北山巴璃が優しく解きほぐしていきますが、そんな彼女にも抱えている秘密があって…？ハンドメイドアクセサリー作りの描写と登場人物の心理描写の組み合わせが心地よいテンポを生み出しています。

夕焼けを思わせるあたたかな光の中に満開の桜が描かれた表紙が、作風をも想起させてくれるような一冊です。



『ミナトホテルの裏庭には』寺地 はるな//著 ポプラ社 2016.2 (F/テ)



大正時代に建てられた、キャラメル色の宿泊施設「ミナトホテル」は、宿泊者の心身をいやす不思議な力がある…——。語り手の木山芯輔は、初代経営者の「葬儀はホテルの裏庭で行う」という遺言を果たすべく、無くなった裏庭の鍵をさがす事になります。その中でホテルに関わる人々の思いにふれ、様々な事実が解き明かされていく物語です。

思わず手に取ってしまうかわいい表紙の通り、万人に愛される、心温まる作品です。



『春、戻る』瀬尾 まいこ//著 集英社 2014.2 (F/セ)



失踪した兄を持つ私は、結婚を前にしたある日、「お兄ちゃん」と名乗る男に出会います。しかし、その男は明らかに自分よりも年下で？！正体不明の兄と名乗る男を目の前にし、今まで閉じ込めて生きてきた“兄との記憶”が少しずつ鮮明になってきて…。こども時代の複雑な心理描写がありつつも、軽い文体で等身大の幸せとはなにかを描いています。

桜のリースの表紙がよく似合う、春の陽だまりのようなほんわかとした物語です。



～みなさまに素敵な本との出会いがありますように～

みみずくちゃんの 図書館レポート

「ボランティア」編

喜多方市立図書館では、利用者にとって利用しやすくより身近な図書館づくりを目指して図書館の活動を支援していただけるボランティアを募集しています。みなさんの時間と力を図書館で活かしてみませんか？



現在、募集しているボランティア活動は以下の2つです。

資料配架ボランティア

返却された図書を本棚へ戻す作業や、本棚の乱れを整える作業をお願いしています。

図書館の本には背表紙にラベルが貼ってあり、その数字と記号をもとに順番に本を並べています。



配架作業を撮影させて頂きました。一日に1時間程度の作業をお願いしています。

環境美化ボランティア

図書館敷地内の清掃や花壇の整備、落ち葉掃き、冬期間の除雪作業をお願いしています。花や植物が好きな方、詳しい方など参加をお待ちしています。



応募資格

中学生以上の方でしたら、どなたでもご応募いただけます。
(未成年・学生さんは、保護者の方や学校の許可も必要となります。)

応募方法

「喜多方市立図書館ボランティア登録申込書」へ必要事項を記入し、郵送、または図書館カウンターまで直接ご持参ください。詳しくは図書館へお問い合わせください。

図書館には多くの利用者さんがいらっしゃるので毎日の本の整頓がかかせません。本がきちんと並んでいると気持ちがいいですし、本を探しやすくなります。

ボランティアさんの活動は、私たち図書館スタッフや多くの利用者さんにとってとてもありがたいものです。



図書館司書

【編集後記】

春、新しいことの始まりの時期。心も体も外に出たくてうずうず。しかし、コロナ禍で大変つらい状況を強いられている人がほとんどだと思います。そんな時こそ本を読みませんか？辛い現実から少しの間、心を異空間へ連れ立ってくれたり、困っている時にも本は解決の糸口となる情報を提供してくれたりします。今年はマスクを外して深呼吸できる、そんな日々を送れることを願っています。(N・S)